

MMA樹脂すべり止めカラー舗装材

# アクリダイト

NO.M11005

T A  
ニート工法  
材料認定章  
R P  
樹脂舗装技術協会

## すべり抵抗性や、路面のカラー化で 交通事故の低減へ

樹脂滑り止め舗装用樹脂のアクリダイトは、一般的に既設または新設のアスファルト舗装、コンクリート舗装面上に、バインダーとしてMMA樹脂を薄く均一に塗布し、その上に耐摩耗性の硬質着色骨材を散布して路面に固着させる工法です。着色骨材やトップコートなどを使用することによりすべり抵抗性のほかに路面のカラー化をはかり、色彩効果と視認性を高め交通事故防止に役立ちます。

### アクリダイトの特長

#### 乾燥性

硬化時間が速く、施工時間の短縮と低温時の施工に優れています。

#### 耐久性

アスファルト舗装やコンクリート舗装路面への接着性に優れ、骨材の固着力に優れ、耐水性や耐薬品性に優れ、高速走行などの苛酷な条件下でも摩耗性と耐久性に優れます。

#### たわみ性

アスファルト路面などの基材に対する接着性に優れ、基材の変形に追従する可撓性を付与していますので、はがれやクラックなどの心配がありません。

#### 色彩効果

耐久性に優れた硬質着色骨材などを使用することにより色彩効果と視認性の高い舗装ができます。

#### ハンスリップ性

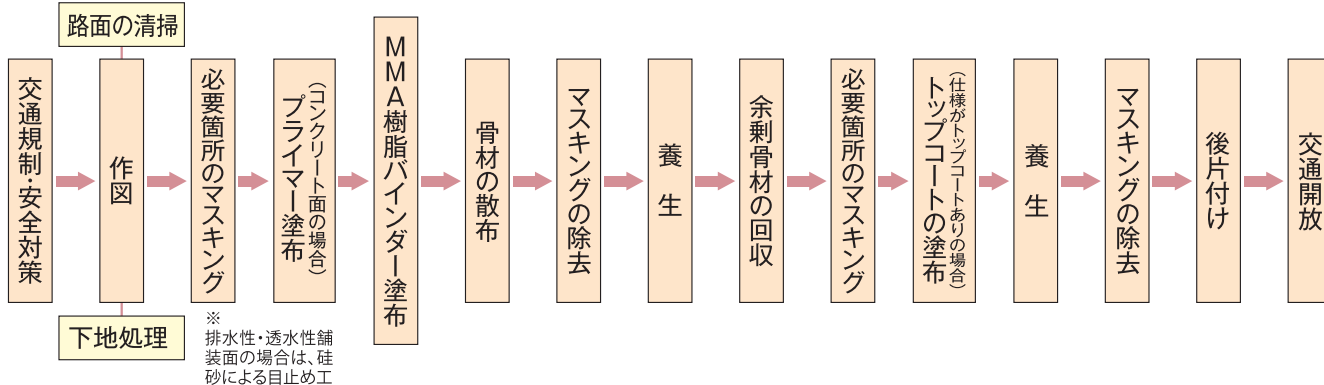
耐久性や耐摩耗性に優れた硬質着色骨材を使用することによりすべり抵抗性に優れます。



## ■ 用途

- 一般道の交差点、坂路、曲線及び走行車線
- 高速道路の走行車線、坂路、トールゲート周辺(ETC)
- 駐車場出入口
- スクールゾーン、通学路、自転車道
- 商店街、公園広場、コミュニティ道路
- 路側帯
- 暴走族対策用段差舗装

## ■ 施工方法



## ■ 商品一覧

	用途	容量
アクリダイト	バインダー	主剤 15kg、硬化剤 0.45kg
プライマー AD-80	コンクリート用プライマー	主剤 5kg、硬化剤 0.3kg

コート工法・樹脂系すべり止め舗装に関する骨材、トップコートも取扱っておりますので弊社までお問合せください。

## ■ アクリダイトの品質規格

項目	試験成績	品質規格(MPN)※	試験方法など(準ずる規格)
密度	1.02	1.00~1.30g/ml	JIS K 5600-2-4による。(金属製比重瓶法) 主剤と硬化剤とを別々に測定し、所定の混合比に沿って計算する。 MMA系樹脂は主剤のみ測定する。
ポットライフ	21	10~40分	混合試料100gの最高発熱までの時間(分)の70%値で示す。
半硬化時間	30	6時間以内	JIS K 5600-1-1 4.3.5b)による。 スレート板に1.9kg/m <sup>2</sup> 塗布する。
引張強さ	7.2 (90.0%) 8.0	・材令3日…材令7日の70%以上 ・材令7日…6.0N/mm <sup>2</sup> 以上	JIS K 6911 5.18による。23℃で3日および7日養生後に測定する。 試験片の厚みが5~6mm 引張速度5mm/min. 伸び率は材令7日養生後のみとする。
伸び率	306	20%以上	
塗膜収縮性	0	7mm以下	樹脂系すべり止め舗装要領書の試験法4)による

※樹脂舗装技術協会の規格値

## ⚠ 安全・衛生注意事項

正しくお使いになるために下記の注意事項を守るようにお願い致します。 製品をご使用になる前には必ず安全データシート(SDS)をよくお読みください。

### 取扱い及び貯蔵上の注意事項

- アクリル樹脂の主剤・硬化剤を取扱う場合、直接手で触れずに必ず保護具を着用してください。(ゴム製又は不浸透性手袋、保護メガネ、保護クリームなど)
- 取扱後は必ず手洗い・洗顔及びうがいを十分に行ってください。
- 容器は常に密閉し、直射日光・高温を避けて一定の場所に貯蔵してください。
- 呼吸器や皮膚が敏感なアレルギー体質の方は、この塗料を取扱う作業を行わないでください。

### 緊急時及び応急処置

- 皮膚に触れた場合、速やかに触れた部分を水又は微温水を流しながら洗浄した後、石鹸を用いて良く洗い落としてください。
- 目に入った場合、多量の清浄な水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲んだ場合、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 気分が悪くなった場合、空気の新鮮な場所に移し、安静にし、医師の診察を受けてください。

### 塗料廃棄上の注意事項

- 塗料を廃棄する場合、産業廃棄物として処理してください。
- 容器から大量にこぼれた場合、砂などを散布し回収してください。また、回収したものは産業廃棄物として処理してください。



# 大崎工業株式会社

本社営業部 〒593-8311 大阪府堺市西区上89番地  
TEL. 072(272)1453(代) FAX. 072(274)1810  
東京営業所 〒144-0052 東京都大田区蒲田4-42-1 KF蒲田第1ビル5F  
TEL. 03(6715)8125(代) FAX. 03(6715)8135  
北陸連絡事務所 〒921-8171 石川県金沢市富樫2-5-41-3  
TEL. 076(244)9196(代) FAX. 076(244)9197  
北海道連絡事務所 〒066-0077 北海道千歳市上長都2番地24  
TEL. 0123(42)6151 FAX. 0123(22)7701

※製品の仕様は、予告なく変更する場合があります。

特約代理店